

令和3年度地方創生推進交付金 御嵩町事業実施計画概要

参考資料 1



1. 「みたけ人」の人材育成を核とした御嵩の魅力
情報発信促進事業【新規】（横展開タイプ）
（事業年度） 令和2年度～令和4年度
2. 武将と歴史街道を核とした広域観光推進プロジェクト
【継続】（横展開タイプ）
（事業年度） 令和元年度～令和3年度
3. 「わくわく地方生活実現政策パッケージ」における
移住支援事業【継続】（移住・起業・就業タイプ）
（事業年度） 令和元年度～令和6年度

「みたけ人」の人材育成を核とした御嵩の魅力情報発信促進事業

【事業概要】

前身事業「みらいの「みたけ人」育成推進事業（H29～R1）」



成果

新規団体の設立及び設立団体による一定の自主財源の確保

課題

各事業について情報受信者が一定数に留まる

「各団体が連携した相乗効果のある情報発信」を

企画

各事業主体の団体だけでなく、地域住民や関係人口、地元企業を巻き込んだ情報発信人材（インフルエンサー）の育成

目標

新たな情報発信人材が活躍し、町の魅力が十分に発揮できている姿

「みたけ人」の人材育成を核とした御嵩の魅力情報発信促進事業

【事業費】



(令和2年度分) : 7,607千円 (内、ハード0円)

前身事業の課題である「情報発信手法」の見直し、改善による各取り組みの深化

(令和3年度分) : 9,969千円 (内、ハード0円)

地域情報の拡散による各種団体の自主財源の安定化、人の流れの増加等のノウハウの醸成

(令和4年度分) : 9,769千円 (内、ハード0円)

各種団体の持続可能な運営体制、地域情報のPR発信体制を実現し、自走組織として確立

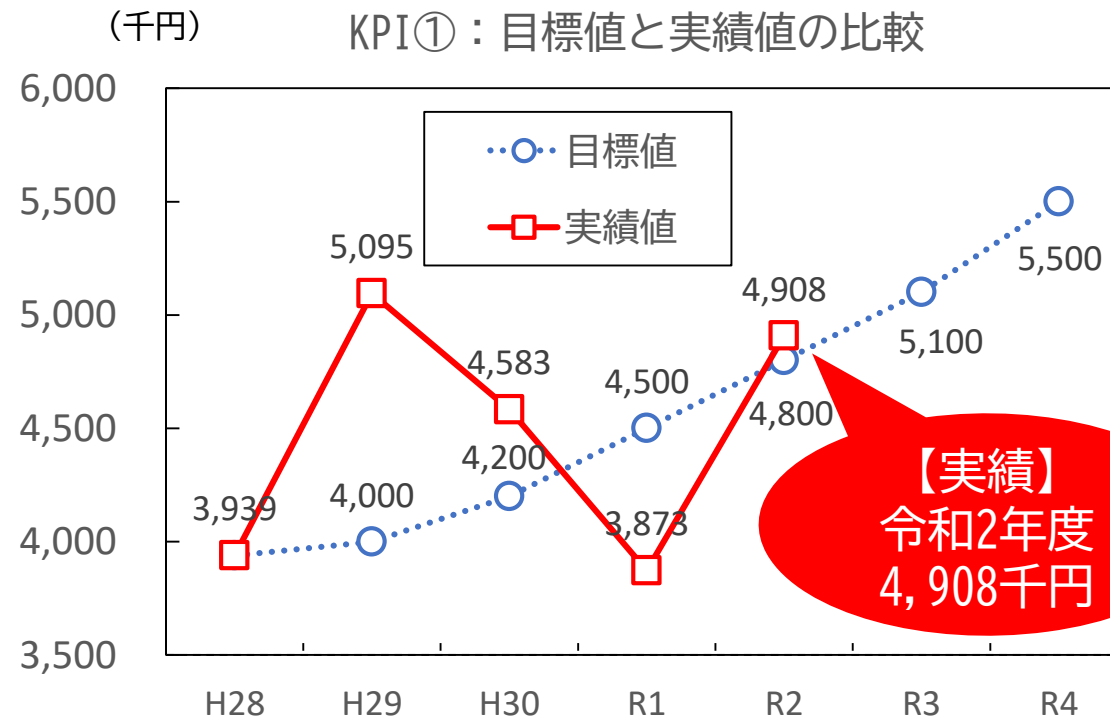
※交付金の内示は令和2年度のみ (毎年審査)

「みたけ人」の人材育成を核とした御嵩の魅力情報発信促進事業

【設定KPI】 本事業のKPIは、前身事業の深化・高度化の位置づけであるため、前身事業からKPIの変更は行わないこととする。



KPI①：御嶽宿わいわい館の年間売上高（単位：千円）



【目標】
令和4年度
5,500千円

【実績】
令和2年度
4,908千円

魅力情報
発信と販
路拡大の
継続

「みたけ人」の人材育成を核とした御嵩の魅力情報発信促進事業

【設定KPI】

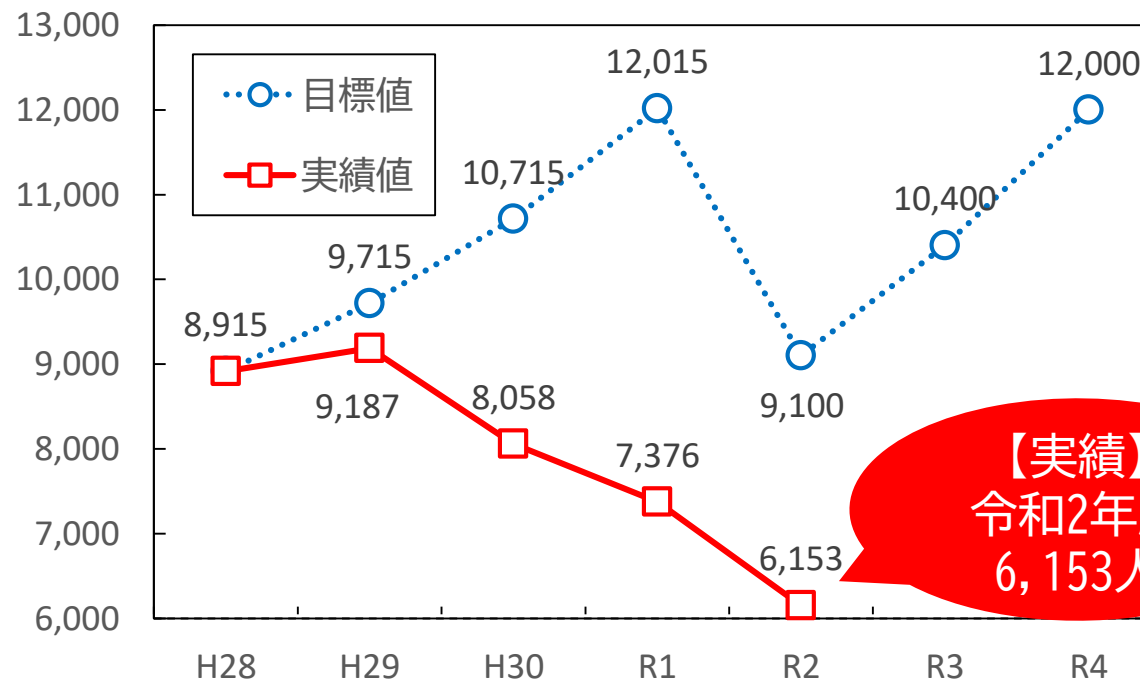
本事業のKPIは、前身事業の深化・高度化の位置づけであるため、前身事業からKPIの変更は行わないこととする。

KPI②：御嶽宿わいわい館の入館者数（単位：人）



(人)

KPI②：目標値と実績値の比較



【目標】
令和4年度
12,000人

【実績】
令和2年度
6,153人

V字回復
を目指す

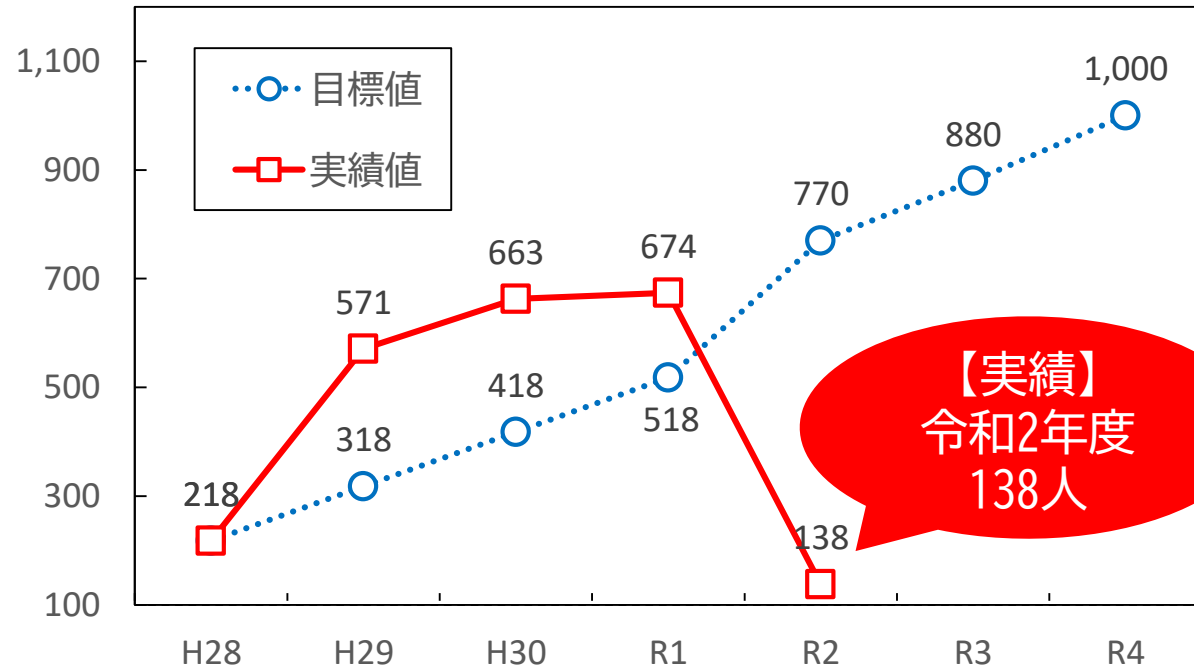
「みたけ人」の人材育成を核とした御嵩の魅力情報発信促進事業

【設定KPI】 本事業のKPIは、前身事業の深化・高度化の位置づけであるため、前身事業からKPIの変更は行わないこととする。

KPI③：環境学習講座の参加人数（単位：人）



(人) KPI③：目標値と実績値の比較



【目標】
令和4年度
1,000人

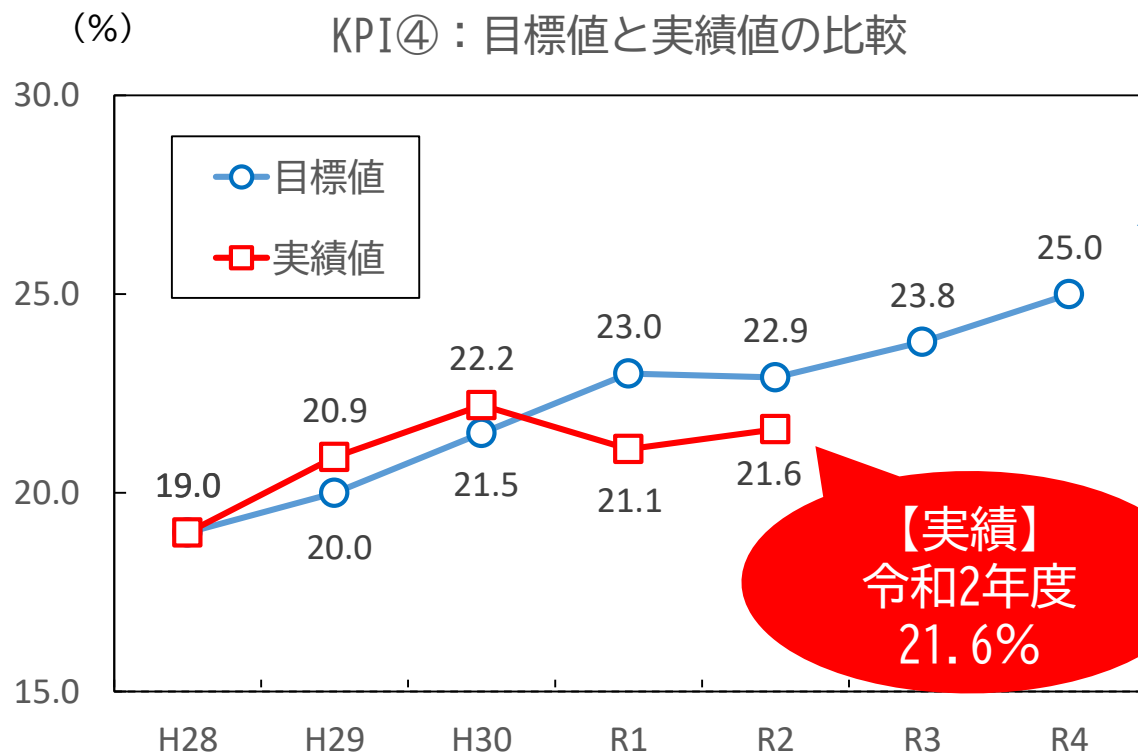
【実績】
令和2年度
138人

コロナ禍
での参加
者増を
目指す

「みたけ人」の人材育成を核とした御嵩の魅力情報発信促進事業

【設定KPI】 本事業のKPIは、前身事業の深化・高度化の位置づけであるため、前身事業からKPIの変更は行わないこととする。

KPI④：工業団地における町内居住従業員率（単位：％）



【目標】
令和4年度
25.0%

【実績】
令和2年度
21.6%

キャリア
教育等の
継続

「みたけ人」の人材育成を核とした御嵩の魅力情報発信促進事業

【これまでの経緯】



(令和2年度)

令和2年4月1日 交付決定

令和3年3月5日 変更交付決定（減額）

令和3年4月13日 交付額確定

(令和3年度)

令和3年4月1日 交付決定

※新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の延期、中止を含め、慎重に事業の実施を検討します。

(令和4年度)

武将と歴史街道を核とした広域観光推進プロジェクト

【事業概要】

■基本目標

「しごとをつくる」「岐阜に呼び込む」「まちをつなぐ」

体験プログラムの充実、観光客の受入環境整備等による
誘客の拡大、域内の周遊や滞在の促進

⇒ 観光資源の魅力向上を目指す

【事業の柱のひとつ】

○大河ドラマ「麒麟がくる」を活用した観光誘客

岐阜県が御嵩町を含む8市町と連携し「**岐阜県大河
ドラマ「麒麟がくる」推進協議会**」を組織

町は連携地方公共団体として**協議会の運営に係る
負担金を支出**



武将と歴史街道を核とした広域観光推進プロジェクト

【事業費（当町分）】 （令和元年度分）：900千円（内、ハード0円）

歴史、戦国・武将観光に向けた観光資源の魅力向上の
つなぎ合わせ

（令和2年度分）：959千円（内、ハード0円）

各地と連携した歴史、戦国・武将観光の全面展開

（令和3年度分）：0千円

歴史、戦国・武将観光の定着と観光資源の発展的活用

※本事業は3年間の計画だが、「大河ドラマ「麒麟がくる」を活用した観光誘客」は2年間の計画である。



武将と歴史街道を核とした広域観光推進プロジェクト

【設定KPI ※域内合計】

- ① 観光入込客数（中山道関連施設）：
令和3年度133万人（平成30年度：130万人）
- ② 観光入込客数（戦国・武将観光関連施設）：
令和3年度50万人（平成30年度：47万人）
- ③ 常設体験プログラム数（戦国・武将観光関連）：
令和3年度57品（平成30年度：48品）
- ④ 土産物品数（歴史、戦国・武将観光関連）：
令和3年度99品（平成30年度：73品）



御嵩町ゆかりの戦国武将「可児才蔵」（通称：笹の才蔵）にちなんだ「笹クッキー」



御嵩町ゆかりの戦国武将「可児才蔵」の笹の家紋を押した「才蔵どら」

武将と歴史街道を核とした広域観光推進プロジェクト

【これまでの経緯】



(令和元年度)

平成31年4月1日 交付決定

令和2年4月15日 交付額確定

(令和2年度)

令和2年4月1日 交付決定

令和3年4月13日 交付額確定

(令和3年度)

「わくわく地方生活実現政策パッケージ」における移住支援事業

【事業概要】

- ・ 移住者に対する支援金の交付
- ・ 一定の要件を満たす起業家に対する創業支援金の交付や伴走支援等

※岐阜県が行う移住・起業支援事業の一環で、
東京圏からの移住を支援する事業

⇒ 東京一極集中の是正を目指す

市町村において支援金を交付し、その3 / 4が補助金として岐阜県から交付される。岐阜県が補助金として支出するため、交付金の申請は岐阜県においてのみ行う。



「わくわく地方生活実現政策パッケージ」における移住支援事業

【事業費（岐阜県分・移住支援のみ抜粋）】



（令和元年度～令和6年度）：各100,000千円

岐阜県全域において、

単身移住者：60万円×15人＝9,000千円

世帯移住者：100万円×91人＝91,000千円

を想定

※令和3年度御嵩町の当初予算として、

世帯移住者：100万円×1人＝1,000千円を計上

「わくわく地方生活実現政策パッケージ」における移住支援事業

【設定KPI】



- ① 移住支援事業に基づく移住就業者数：
令和6年度576人（各年度96人）
- ② 移住支援事業に基づく移住起業者数：
令和6年度60人（各年度10人）

※岐阜県全域での数値

令和2年度実績は6件のみであり、積極的な事業の推進が求められる。